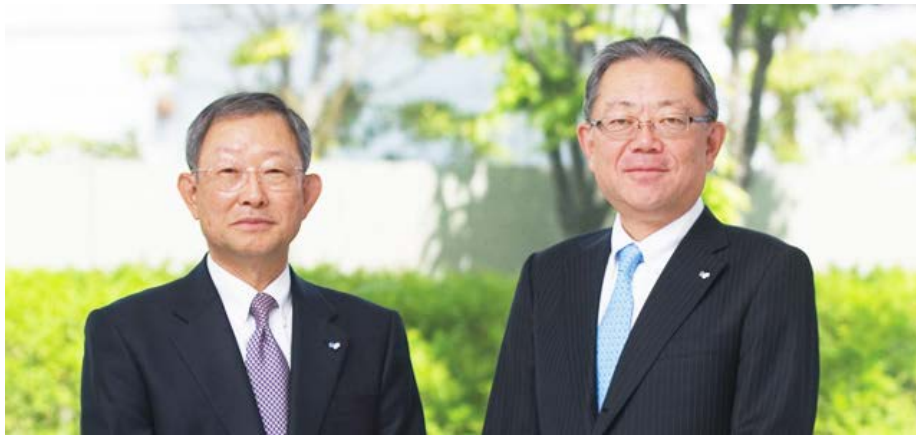


トップメッセージ

Message from Chairperson and President

社会課題が複雑化する中、
多様な視点をもってお客さまのニーズに応えることで、
持続可能な社会の発展に貢献していきます。



S Gホールディングス株式会社 代表取締役会長 栗和田 榮一（左）、代表取締役社長 町田 公志（右）

経営ビジョンの実現に向けて中期経営計画を着実に遂行

SGホールディングスグループを取り巻く事業環境は、経済のグローバル化や少子高齢化、産業の空洞化など目まぐるしく変化しています。そうした時代の流れもあり、お客さまのニーズや個人の生活環境も、大きく変化しています。このような社会構造の転換期に直面する中で、当社グループは経営ビジョンで掲げる「グループ内外の経営資源活用と連携深化で新たな価値を創造し、経営基盤強化と持続的な成長を目指します」を達成すべく、改革に取り組んでいます。

2014年度は、当社グループ中期経営計画「Third Stage Plan」の2年目となり、「グループシナジーの追求」「グローバル事業の拡大」「ビジネスモデルの変革」をテーマに事業展開を進めてきました。グループシナジーの追求では、グループ各社による戦略的営業開発チーム「GOAL（GO Advanced Logistics）」を発足させ、先進的かつ最適な物流を、お客さまごとにカスタマイズして提案する取り組みを開始しました。これを契機に、3PL事業の拡大、国際一貫物流の展開、および新たな高付加価値サービスの提供を加速的に進めます。

グローバル事業の拡大では、スリランカ最大手のフレイト・フォワードであるEXPOLANKA HOLDINGS PLCをグループ化したことで、これまで当社グループが強みを発揮してきた環太平洋ネットワークに加え、アジアからさらに西へ向けたグローバル・ネットワーク確立を視野に入れた事業展開を目指します。

ビジネスモデルの変革では、商業施設への物流にイノベーションを起こす新サービス「スマート納品」を開始するとともに、グループ総合力を最大限に発揮した「ファシリティマネジメントソリューション」の提供により、街づくりや都市活性化までも視野に入れた、新たな価値創造ビジネスを展開しました。また、2015年4月には株式会社ローソンと業務提携し、新会社「SGローソン」を設立（2015年6月）。全国各地のコンビニエンスストアを起点にした配送サービスの提供により、さらに利便性の高いラストワンマイルを実現していきます。

CSRマネジメント改革「6つのCSR重要課題」を設定

社会構造が急速に変化する中、社会課題も多様化・複雑化してきています。当社グループは、さまざまなステークホルダーとの協働のもと、グループシナジーを最大限に活かし、事業を通じてその社会課題を解決していきたいと考えています。そのためには、企業経営をCSR視点で適切にマネジメントしていくことが、今まで以上に重要になってきていると認識しています。

2014年度は、持続可能な社会の発展と、事業の持続的な成長の両面の観点から当社グループのCSRの実効性を高めるため、新たに「6つのCSR重要課題」を特定し、マネジメントの充実を図りました。また、新たにグループ共通の「環境理念・環境方針」「取引先CSRガイドライン」を策定し、グローバルなガバナンス体制構築に向けて基盤を固める布石ができたと考えています。さらに、リスクマネジメント体制の見直しやBCP・BCMのさらなる強化など、さまざまな施策を展開しました。

社会課題への対応と組織活性化への新たな取り組み

2014年度は、環境分野において、館内物流の取り組みが「東京における地区物流効率化認定制度」の認定を受けたほか、カーボン・ニュートラルの認証取得や電気自動車の導入など、先進的な試みに数多く挑戦しました。また、少子高齢化という大きな社会課題に対応し、多様な労働力の確保に向けて女性や高齢者、グローバル人材など、あらゆる従業員が活躍できる職場づくりにグループをあげて取り組み、ダイバーシティを積極的に推し進めました。

今後、当社グループを取り巻く事業環境に鑑みると、「グループ結束力」の重要性はこれまで以上に高まると考えています。そのため、組織の活性化を図り、従業員同士のコミュニケーションを深化させることは大きな経営課題です。「わくわくウィメンズプロジェクト」により、女性活躍推進への取り組みを継続するとともに、2014年度は「社内ベンチャー制度」の発足をはじめ、社内のコミュニケーションを促進するさまざまな施策を講じました。

サプライチェーン全体でCSRを考え、推進していく

当社グループの特徴として、サプライチェーンの上流から下流まで、一貫した物流ソリューションを提供できる強みがあります。その対象エリアは世界60カ国・地域に及びます。今後、CSRマネジメントを推進するにあっても、サプライチェーン全体で取り組むことが欠かせません。世界100万社を超えるお取引先企業と協働し、また現地の文化や働く人々の人権を尊重しながら、持続可能な社会の発展に向けて共に取り組んでいきたいと考えています。

私たちは、社会のインフラである物流を担っています。人体を流れる血液のように、この物流を止めることなく確実に継続させていく、つまり、お客さまの要望に真摯にお応えし、お荷物を迅速・確実・丁寧にお届けし続ける。これを未来永劫継続させるために、当社グループ一丸となって邁進していきたいと考えています。

SGホールディングス株式会社
代表取締役会長

SGホールディングス株式会社
代表取締役社長

栗和田 榮一 町田 公志